

思春期特発性側弯症の真実

50年間の研究が明かした意外な事実

アイオワ大学50年追跡研究の成果 →

従来のイメージ vs 現実

😱 従来の誤解（1968年）

- 高い死亡率
- 重篤な呼吸器障害
- 心肺機能不全
- 早期死亡

問題点：混合病因の症例を含む研究

✓ 実際の研究結果

- 一般人口と同等の死亡率
- 正常な生活が可能
- 就職・結婚・出産可能
- 高齢まで活動的

根拠：394人、50年間追跡

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.

An error occurred on this slide. Check the terminal for more information.



治療成績の比較



観察のみ

成功率：48%

- 自然経過を観察
- 定期的な検査
- 進行時に治療検討



重要な教訓

適切な治療により多くの患者で手術を回避可能



装具治療

成功率：72%

- 日中装着
- 定期的な調整
- 12.9時間以上で90-93%



手術治療

50°以上で適応

- 器械固定術
- 進行予防
- 変形矯正

まとめ

🎯 重要なポイント

従来の悲観的な見方は誤解

未治療でも多くが正常な生活を送れる

装具治療は科学的に有効

適切な情報に基づく治療選択が重要

🏆 50年間の継続研究の意義

根拠に基づく医療の重要性を示す素晴らしい例

ありがとうございました

Questions? →